

京都府における自殺の現状

1 自殺者数・自殺死亡率の推移

- 京都府における自殺者数は、平成10年に対前年比47%増（220人増）と急増した後、平成22年までの13年間は、590人から696人までの間で推移
- 平成23年以降は、減少傾向に転じ、平成26年の自殺者数は対前年47人（9.1%）減少の471人

区分	自殺者数※1			自殺死亡率※2		
	男	女	男女総数	男	女	男女総数
平成8年	-	-	477	-	-	18.1
平成9年	-	-	467	-	-	17.7
平成10年	488	199	687	38.1	14.6	26.0
平成11年	484	186	670	37.8	13.6	25.3
平成12年	511	185	696	40.0	13.5	26.3
平成13年	449	185	634	35.1	13.5	23.9
平成14年	468	180	648	36.7	13.1	24.5
平成15年	475	198	673	37.2	14.4	25.4
平成16年	439	193	632	34.4	14.0	23.8
平成17年	418	181	599	32.8	13.2	22.6
平成18年	405	191	596	31.8	13.9	22.5
平成19年	424	211	635	33.4	15.4	24.0
平成20年	406	184	590	32.0	13.4	22.3
平成21年	430	190	620	34.0	13.9	23.5
平成22年	450	173	623	35.6	12.6	23.6
平成23年	369	198	567	29.2	14.5	21.5
平成24年	324	140	464	25.7	10.2	17.7
平成25年	351	167	518	28.0	12.3	19.8
平成26年	316	155	471	25.3	11.4	18.0

※1 自殺者数は平成19年までは京都府警察本部「平成19年中における自殺の概要資料」、平成20年以降は、内閣府「警察庁の自殺統計原票を集計した結果（自殺統計）」による自殺者数（発見日・発見地）

平成8年及び平成9年の男女別内訳は欠損

※2 自殺死亡率は総務省統計局の「都道府県別人口（各年10月1日現在）-総人口」による人口を用いて算出

出典：「人口推計」（総務省統計局）（<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/index.htm>）（平成27年6月30日に利用）

2 詳細内訳

■性別の状況（平成21年から平成26年の合計値）

- 男性と女性の割合は概ね2対1の割合となっている。70歳以上の年齢階級では、女性の割合が高くなっている。

区分	未成年	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～	全体
男性	72.9%	71.4%	72.2%	68.9%	71.4%	70.8%	58.9%	51.1%	67.8%
女性	27.1%	28.6%	27.8%	31.1%	28.6%	29.2%	41.1%	48.9%	32.2%

■年齢階級別の状況

- 年齢階級別の自殺者数は、男女総数では60歳代が最も多く、次いで40歳代が続く。男性でも同じく、60歳代が最も多く、次いで40歳代が続く。女性では、70歳代が最も多く、次いで60歳代が続く。

区分		京都府	京都市	乙訓	山城北	山城南	南丹	中丹	丹後
全体	未成年	70	34	4	13	3	4	10	2
	20歳代	391	249	20	60	16	17	16	10
	30歳代	442	239	21	83	23	17	39	18
	40歳代	524	315	32	68	15	32	40	21
	50歳代	504	277	19	65	22	34	50	33
	60歳代	609	356	30	96	21	35	48	21
	70歳代	440	238	18	75	17	31	34	26
	80歳～	231	104	11	30	7	18	32	29
	不詳	0	0	0	0	0	0	0	0
男性	未成年	51	23	4	10	2	2	8	2
	20歳代	279	179	15	43	12	11	10	7
	30歳代	319	168	15	61	15	13	32	13
	40歳代	361	207	22	52	9	23	27	20
	50歳代	360	191	14	47	14	30	35	26
	60歳代	431	251	17	70	15	23	34	19
	70歳代	259	139	11	47	9	15	24	18
	80歳～	118	52	7	14	3	9	20	13
	不詳	0	0	0	0	0	0	0	0
女性	未成年	19	11	0	3	1	2	2	0
	20歳代	112	70	5	17	4	6	6	3
	30歳代	123	71	6	22	8	4	7	5
	40歳代	163	108	10	16	6	9	13	1
	50歳代	144	86	5	18	8	4	15	7
	60歳代	178	105	13	26	6	12	14	2
	70歳代	181	99	7	28	8	16	10	8
	80歳～	113	52	4	16	4	9	12	16
	不詳	0	0	0	0	0	0	0	0

■原因・動機別の状況

- 健康問題が最も多く、次いで経済・生活問題、家庭問題の順となっている。なお、自殺対策基本法第2条第2項や京都府自殺対策に関する条例第3条第3項で規定されているとおり、自殺は多様かつ複合的な原因及び背景を有するものであることから、自殺の原因・動機を単純化することはできないものと考えられる。

区分	京都府	京都市	乙訓	山城北	山城南	南丹	中丹	丹後
家庭問題	423	227	17	63	12	22	49	13
健康問題	1,543	844	78	226	55	73	125	73
経済・生活問題	656	374	35	67	21	37	65	36
勤務問題	258	132	12	43	7	10	26	15
男女問題	105	65	6	10	6	3	10	2
学校問題	69	45	5	7	0	3	2	2
その他	141	66	5	20	4	12	18	8
不詳	920	540	37	121	29	61	65	30

※遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機を3つまで計上可能としているため、原因・動機特定者の原因・動機別の和と原因・動機特定者数とは一致しない。

■二次医療圏別の状況

- 二次医療圏によって、自殺死亡率には差がある。全体的な傾向としては、多少の増減はあるが、減少傾向にある中で、中丹医療圏は、この間、ほぼ変動がない状況である。

区分	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	計
京都市	351 (25.31)	343 (24.77)	314 (22.71)	273 (19.75)	256 (18.02)	275 (19.36)	1,812 -
乙訓	33 (22.12)	32 (21.43)	30 (20.11)	22 (14.78)	26 (17.36)	12 (8.00)	155 -
山城北	94 (21.33)	87 (19.72)	79 (17.89)	64 (14.52)	92 (20.68)	74 (16.65)	490 -
山城南	24 (21.01)	26 (22.55)	13 (11.16)	16 (13.65)	27 (22.81)	18 (15.17)	124 -
南丹	29 (19.99)	39 (27.07)	38 (26.56)	27 (18.97)	31 (21.74)	24 (16.91)	188 -
中丹	43 (20.58)	46 (22.18)	44 (21.35)	45 (22.00)	47 (22.92)	44 (21.48)	269 -
丹後	35 (31.63)	36 (32.87)	26 (24.04)	18 (16.86)	21 (19.82)	24 (22.83)	160 -
京都府	611 (23.91)	617 (24.18)	546 (21.44)	465 (18.29)	500 (19.33)	472 (18.25)	3,211 -

■職業別の状況

- 無職が全体の約60%を占めている。無職の中では、年金・雇用保険等生活者が最も多く、次いでその他の無職者が続く。
- 自営業者・家族従事者と被雇用・勤め人の割合は全体の約40%であるが、山城北医療圏と中丹医療圏では被雇用・勤め人の割合が高くなっている。

区分	京都府	京都市	乙訓	山城北	山城南	南丹	中丹	丹後
自営業・家族従事者	300	166	9	18	12	21	32	18
被雇用・勤め人	837	461	43	64	24	49	84	34
無職	2,029	1,154	98	127	70	114	153	101
学生・生徒等	184	119	8	11	3	11	8	3
無職者	1,845	1,035	90	116	67	103	145	98
主婦	241	134	16	21	15	11	20	8
失業者	183	101	11	15	9	7	13	12
年金・雇用保険等生活者	718	386	28	43	20	49	64	49
その他の無職者	703	414	35	37	23	36	48	29
不詳	45	31	2	3	0	4	0	1

■同居人の有無別

- 同居人ありが全体の約70%となっている。

区分	京都府	京都市	乙訓	山城北	山城南	南丹	中丹	丹後
あり	2,161	1,118	111	356	103	144	199	130
なし	1,015	682	44	131	20	42	68	28

※同居人の有無不明のものがあるため、合計値が100%にならない場合がある。

■自殺未遂歴の有無別の状況

- 男性に比べ女性の方が自殺未遂歴ありの割合が高くなっている。男性では約15%、女性では約30%に未遂歴がある。

区分	京都府	京都市	乙訓	山城北	山城南	南丹	中丹	丹後	
全体	あり	618	363	21	76	28	30	54	32
	なし	1,625	831	81	230	59	118	150	104
	不詳	968	618	50	118	19	40	65	18
男性	あり	319	174	8	34	11	14	22	11
	なし	1,150	574	43	116	33	53	93	58
	不詳	713	462	26	55	7	22	49	8
女性	あり	299	189	9	24	10	11	24	11
	なし	475	257	21	53	13	31	39	13
	不詳	255	156	13	30	7	10	13	4

※データの欠損があるため、男性と女性の合計数は合わない場合がある。